

一年で4000の増加！

地域ネットワーク支援事業 マネージャー補佐
葛西優香

「むすびえ」について教えてください。

「むすびえ」は昨年十二月に設立された特定非営利活動法人の全国子ども食堂支援センターです。これまでも全国の子ども食堂を統括する組織「子ども食堂ネットワーク」がありましたが、より効率化した組織が必要となつて、「むすびえ」としてスタートを切るようになりました。

全国の都道府県や市町村ごとに、「子ども食堂」を結ぶネットワーク団体があり、それらの団体を支援し、情報交換を行っています。また「子ども食堂」を支援したい、協働してイベントを行いたいなど企業や組織からの

依頼があれば、「子ども食堂」の運営者と引き合わせることもあります。それから「子ども食堂」の存在がどのような変化を生むのか。その調査研究も役割の一つです。

——葛西さんが「むすびえ」にかかわるきっかけは？

私は法政大学の大学院で防災

に関する研究をしています。湯浅さんが、今年の三月まで法政大学の現代福祉学部で教えていらつしたのですが、そこで「子ども食堂」について知りま

した。私も当初は「子ども食堂」

＝貧困問題」だと思つていたの

で、それだけではないのだと驚きました。私の研究は、防災を

軸に日本各地に地域防災拠点を
作ることがテーマです。それが
地縁コミュニティ復権にもつな
がると思つていました。私自身
子どものころ、大阪・豊中市で
阪神淡路大震災を経験し、コミ
ュニティに助けられましたから、
その重要性は痛感していました。
普賢から地域でいろいろな世代
の人がかかわる拠点が存在して
いれば、いざというときスムー
ズに支援の輪が広がると思いま
す。「子ども食堂」を見ると、
自然とその役割を担っているん
ですね。

——現在、「子ども食堂」は約
三七〇〇とのことですね。

今年六月に行つた「むすび
え」と全国の子ども食堂地域ネ
ットワークの共同調査によると、
全国で三七一八カ所。全国の児
童館の数(約四千カ所)と同じ
くらいですね。「子ども食堂」
の取り組みが始まつたのが二〇

す。その方は結婚されています
が、お子さんはいません。最近
仕事も落ちていて自由な時間も
増えたので何かボランティアで
もと考えていたら、「子ども食
堂」のことを耳にして、探した
のだそうです。子どもと接する
のに慣れていないからと、調理
担当を買つて出たのですが、最
近では「子どもの相手もだんだ
ん馴染んできた」と笑つていま
した。また、七十代の女性は、
お手玉やおはじきなど、昔の遊
びを子どもたちに教えてくれて
います。「ここに来ると遊びす
ぎる」と言いながら、自然と居
場所を増やしているように感じ
ます。年配の男性の中には「こ
ども食堂」に自分が行つていい
のか？と考える人もいるかも
しれませんが、大歓迎ですよ。
図書館で静かに過ごす日もあつ
ていいと思いますが、それだけ
ではもつたない。特にリタイ

アした後、外との接点は意識し
て作つておいたほうがいいと考
えます。困つたときに「助け
て」と言えなくなってしまうの
ではないかと思つていますから。

——「子ども食堂」がもつ増
えるにはどうすればいいと思ひ
ますか？

場所と人、お金の問題を解決
していくことでしょうか。情熱
はあつても、ある程度まとまつ
た人数の食事を作るとなると、
調理に配膳、その間に子どもの
面倒を見る人も必要です。正直、
一人では難しい。高齢者介護施
設の調理場やダイニングを使つ
て、夕食後に「子ども食堂」を
開催しているところもあります
ね。調理場のスタッフにも協力
してもらえて、とても助かつて
いると思います。あとは、小学
校の家庭科室が使えるといいん
ですが。家庭科室だと、夜や週
末は空いていますからね。

もちろんです。個人でも企業
や団体、自治体、学校などさま
ざまな形でかかわつてもらつて
ます。寄付の方法もお金だけで
なく、Tポイントを使うことも
できますし、古本買取業者と連
携しているの、読まなくなつ
た本やDVDで寄付をすること
も可能です。また、「むすびえ」
に登録されている全国の「こ
ども食堂」から、近所にある「こ
ども食堂」を探すことも可能で
す。「子ども食堂」で調理を担
当している五十代の男性がいま

ドルが高いと感じていました。
地域活動にも必要性を感じてい
るけれど、時間を取られそうな
のでかわりたくない。祭りを
手伝つたら、次は何か役職を押し
つけられるんじゃないかとネ
ガティブな印象を持つている
(笑)。もしできないことを頼ま
れたら、断ればいいと思うので
すが、断り方がわからず、過剰
に介入される恐れを持つている
のかもしれない。

——個人として「子ども食堂」
に関つてもいいわけですね。

特定非営利活動法人 全国子ども食
堂支援センター・むすびえ
所在地：東京都渋谷区代々木2-12-
2 子ども食堂ネットワーク内
URL：https://musubie.org
設立年：2018年
事業内容：地域ネットワーク支援事
業、企業・団体との協働事業、調
査・研究事業

理念：子ども食堂の支援を通じて、
誰も取りこぼさない社会をつくる。
使命：子ども食堂が全国のどこに
でもあり、みんなが安心して行ける場
所となるよう環境を整える。子ども
食堂を通じて、多くの人たちが未来
をつくる社会活動に参加できるように
する。

——「子ども食堂」ではない
のですが、支援に目的を絞
り、社会貢献の一環として活動し
たいという企業もあります。そ
ういう支援企業と「子ども食
堂」をつなぐのも「むすびえ」の
役割です。企業からの協力は、た
とえば食品会社から食料品を提
供される場合もありますが、金
融や不動産など食とは関係のな
い業種も増えてきました。纯粹
に社会貢献活動の一環としてこ
協力いただいています。

——地域の大人が気軽に自然
にかかわれたらいいのですが。
私が以前、大学院で実施した
アンケートに「人とのつながり
は必要だと思いますか？」とい
う質問項目を入れたところ、過
半数の学生が「つながりは必
要」だと答えた。しかし、ハー